

5Gの最先端技術で 通信ネットワークの高度化と拡充に貢献する

～5Gがもたらす新しい社会へ向かって
事業の高付加価値化を推進～

インターネットの急速な発展とスマートフォンの普及により私たちの社会生活は大きく変わりました。5Gの実用化により、通信サービスはさらに高度化し広がります。また、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、「新しい生活様式」が始まり、情報通信の存在は以前にも増して重要なものとなってきています。

アンリツの計測事業は通信技術の確立や普及に不可欠な測定システムをグローバルな市場に提供しています。お客さまのパートナーとして、5Gをはじめとする情報通信の発展に寄与するとともに、通信技術の新しい応用・活用領域での課題解決に向けたテストソリューションを創出していきます。

取締役 常務執行役員
通信計測カンパニープレジデント
島 岳史



SWOT分析

- 光、伝送、無線、プロトコルにわたる通信・測定技術と製品群
- グローバルな開発・販売・サポートネットワーク
- 業界をリードするお客さまや取引先さまとのパートナーシップ

強み

S

- 5G/IoT 利活用市場の開拓が途上
- スマートフォン関連市場への依存度の高さ

弱み

W

- 5Gのサービス拡大にともなう開発・製造・建設保守向け設備需要の増加
- データトラフィックの増大によるネットワーク高速化や大容量化
- 社会生活のリモート化による非通信産業分野でのIoT利用促進

機会

O

- 新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の縮小
- 貿易と地政を巡る緊張の増大
- 急激な円高によるコスト競争力の低下
- 特定顧客の盛衰

脅威

T

事業領域

アンリツは今年125年を迎える長い歴史の中で、情報通信の未来を切り開くイノベーションを起こし、オリジナルでハイレベルな製品を社会に送り出すことで、通信技術の進化に貢献してきました。計測事業は通信用機器と設備の品質保証に不可欠な測定器群およびシステムを世界中のお客さまに提供しています。

- ・ スマートフォンに代表されるモバイル通信市場で、チップセット開発、デバイス開発、国際規格適合試験、製造検査に至る全フェーズでテストソリューションを提供。
- ・ モバイルネットワークを構成する基地局をはじめとする

各種通信装置・機器の製造や建設保守用の測定器を有線・無線の領域にわたって幅広く提供。

- ・ クラウドコンピュータからインターネットを介して高精細な映像や画像を高速で提供するネットワークデバイスの性能評価用および製造検査用測定器を提供。
- ・ IoT化する自動車、家電および産業用設備に搭載される通信モジュールのコネクティビティ品質の評価や保証に必要な測定器およびシステムを開発用、製造検査用に提供。
- ・ 通信事業者のネットワーク稼働状況を可視化し、障害分析や容量拡充といったネットワークオペレーションの向上に貢献するモニタリングソリューションを提供。

市場環境と事業機会

■ 社会活動のリモート化が促進

2019年に米国、韓国から始まった5Gサービスはその後中国へ広がり、世界各国が本格導入に向けて動いています。新型コロナウイルスという、人類が経験している世界的な困難の中で、通信を利用した新しい生活形態が注目されています。対面型が前提であった多くの販売、サービス提供がオンライン型へと変わりつつあり、それは教育、医療にまで及びつつあります。このようなリモート型の社会活動（非対面経済）が今後促進されると、高精細な映像・画像情報を通信で提供するニーズが高まることが予想されます。

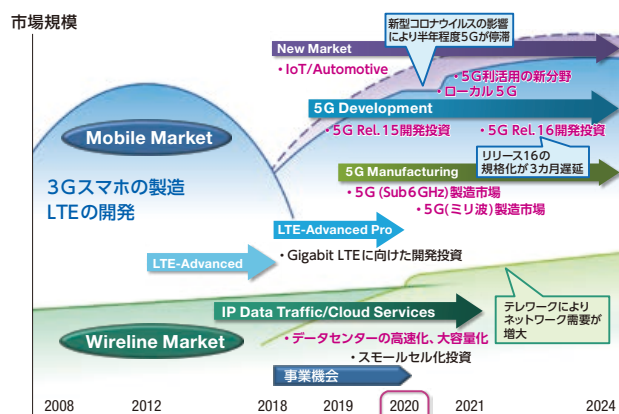
■ 多様化する情報通信利用

各種社会活動のリモート化により、SNSや動画共有、オンラインミーティングなどのデータトラフィックは急激に増加しています。4K/8K動画などのデータセンターからの大容量通信サービス、VRによるイベントの中継、自動運転に代表される各種IoTのサービスなどが実用化されてくるにつれ、ネットワークのさらなる高速化が求められます。現在でも見られる画像の乱れや遅延といった課題は一層大きなものになることが想定され、このような社会ニーズを満たす通信キャリア、通信機器・装置メーカーを品質面から支えるための測定技術も高度化・複雑化していきます。

■ より快適で高品質な情報化社会を目指して

より便利で快適な環境が情報通信に求められる中で、無線の5G、有線の400Gbpsイーサネット、各種小電力無線がその実現手段として期待されています。アンリツが培ってきた4G、5G、イーサネット、ワイヤレスLAN、Bluetoothの測定技術とモニタリングの技術はこれらの大容量・高速通信ネットワークの品質を漏れなく支えています。今後はローカ

計測市場トレンドと事業機会



ル5Gといったお客さまのユースケースの広がり・多様化に応じたテストソリューションの提案を進めるとともに、将来の6Gに向けた技術の習得・蓄積にも取り組んでいきます。

成長戦略

■ GLP2020基本方針

中期経営計画GLP2020では、(1)5G, LTE-Advanced, (2)IoT/Automotive, Connectivity, (3)IP Data Traffic, Cloud Servicesの3つを利益ある持続的成長のドライバーとして位置付けています。その中でも5Gはこの中核を担う事業でお客さまのユースケースの広がりに応じてテストソリューションの幅も広げていく必要があります。計測事業はR&D投資の対売上比率14%を維持しつつ、5Gと世界的なブロードバンドニーズに対応して高度化されるイーサネット、コネクティビティ等の発展に向けた投資を積極的に行います。サポート体制、販売体制といった製品開発以外の領域でも拡充を図り、お客さまとのパートナーシップを高めていきます。

計測事業の領域



モバイルコミュニケーション
2G, 3G, 4G&5G



オートモーティブ
IoT コネクティビティ



クラウドコンピューティング
ハイスピードバス



ネットワーク建設・保守

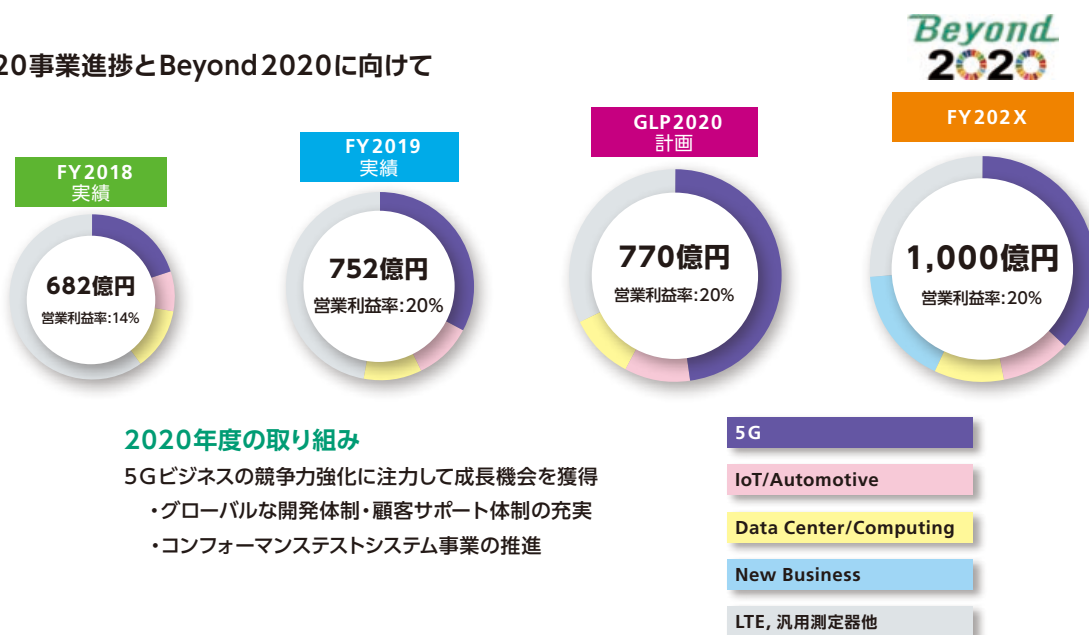


RFµ/mmWave
デバイス/コンポーネンツ



通信事業者
ネットワークモニタリング

GLP2020事業進捗とBeyond2020に向けて



2019年度の成果

GLP2020の2年目である2019年度は売上高752億円、営業利益率20%となり、期初計画であった売上高690億円、営業利益率12%を大幅に上回りました。これは5G商用化の開発需要を捉えたことが主要因ですが、とりわけアジアを中心に立ち上がった5Gサービスに対応した通信機器の開発需要に応えたことが業績に大きく寄与しました。

GLP2020の最終年度の取り組みについて

2020年度は2019年度末から始まった新型コロナウイルスの影響が上半期まで及ぶものの、下半期ではその影響がなくなることを前提に、GLP2020の完遂とGLP2023に向けたガイドラインとしての目標である売上高770億円、営業利益率20%の達成に向けて邁進していきます。本年度は2019年度に取り組んだ5G商用開発のビジネスに商用サービスに関わるコンフォーマンス試験の需要が加わります。そして、サービスを開始する事業者の数が増えるに従い、需要は増加すると考えられることから、顧客基盤拡大に向けて取り組んでいきます。5Gの普及にともない、競争も激しくなると想定しており、関連製品の競争力強化にも注力していきます。また、5G以外にもさらに速度が上がる400Gbpsイーサネット、クラウドコンピューティング、ワイヤレスLAN等の分野に向けたテストソリューションへの積極投資も行い、通信ネットワーク全体の大容量・高速化を支える製品展開を進めます。

Beyond2020に向けて

5Gでは超低遅延や多数同時接続といった特徴があり、これにより今までは実現が困難だった自動車、医療、製造業、建設業等での情報通信技術の活用が可能となります。多くの実証実験が行われており、さまざまなユースケースが出てくると想定しています。当社は一部の先行するサービス事業者、製造関係のお客さまとの初期検証活動を行っており、従来からのスマートフォン関係以外の領域へと活動の幅を広げ始めています。当社計測カンパニーのコア・コンピタンスである「つなげる技術」と「はかる技術」を活かし、異業種でプレゼンスの高いお客さまとの協業やM&Aを通して5G利活用の分野での事業拡大を目指します。

収益面で成長を支える仕組みも強化していきます。具体的には、海外の開発拠点へのリソース配分強化による費用対効果の改善、販売チャネルの増加による顧客ベースの拡大(新市場からの収益増)、製造拠点の所在地に拘束されないフレキシブルな生産体制の構築(ロケーションフリー生産)、調達先各社との提携による主要部品の複数国生産(調達リスク回避)といった取り組みを強化し、全体最適化・効率化を推進していきます。

これら一連の取り組みにより、Beyond2020の目標として売上高1,000億円、営業利益率20%を目指します。

事業を通じて解決する社会課題



社会課題の背景

SNSや写真共有・動画配信など、インターネットを通じたコミュニケーションは、社会と「つながる」ツールとして欠かすことのできないものとなっています。その「つながり」を実現している通信ネットワークは日々進化を遂げ、高速・大容量、超低遅延、多数同時接続を実現する5Gの時代に入っています。5Gは、スマートフォンやタブレット端末の高度化に加え、医療、農業、自動車、防災などの産業分野で利活用され、情報格差、交通事故防止、労働者不足などさまざまな社会課題を解決し、社会のサステナビリティを実現する通信インフラとして期待されています。

■ アンリツの取り組み

計測事業が推進するオリジナルでハイレベルな製品づくりによる付加価値の提供は目標9(産業と技術革新の基盤を作ろう)に合致しています。IoTによる利活用を含めた5Gでのビジネス拡大を通じて目標11(住み続けられるまちづくりを)への貢献度を上げていきたいと考えます。また、お客さまとのパートナーシップ、環境配慮型の製品づくり、海外オペレーションの強化への取り組みにより、アンリツグループで取り組む「SDGsに代表される社会課題の解決」の一翼を担っていきます。

情報通信が高度に発展した社会では安全、省エネをはじめ、多くの社会的課題が解決できる可能性があります。当社の測定技術は、通信の品質を高めるソリューションの提供を通じて、便利で安心な生活の実現のために役立っていると考えています。引き続き、5Gのみならず保有する技術を最大限活用して持続可能な社会づくりに貢献していきます。

